

85. レセプト等情報を用いた脳卒中、脳神経外科医療免疫学調査

研究の概要

入院、外来レセプトデータもしくはDPCデータの中から脳卒中や脳神経外科関連の疾患に関わった患者情報や臨床データを取得し、研究組織で策定した臨床指標を用いて、測定した情報の関係性を分析し、脳卒中のアウトカム（死亡率など）に対する影響を明らかにする。

研究の目的と方法

J-ASPECT study参力施設から提供されるDPCデータもしくは匿名化处理した医科レセプトデータにより、脳卒中、脳神経外科関連の傷病名等に基づいて対象症例を絞り込んだ全国規模の大規模データベースを構築し、今後の脳卒中関連の研究等に活用するとともに医療施設の負荷を抑えた方法で脳卒中、脳神経外科医療に関する症例データベース構築を継続していくことを目的とする。

本研究の参加について

DPCデータ及びレセプトデータによる観察研究のため身体的な利益及び不利益を生じることはありません。研究に扱う情報は、提供前に個人が特定できないよう匿名化され提供されますので、個人が特定されない形で厳重に取り扱います。本研究にご自身のデータの使用をご希望されない方は、あるいはご質問等のおありの方は末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

入院、外来レセプトデータもしくはDPCデータの中から脳卒中や脳神経外科関連の疾患に関わった患者情報や臨床データ

調査期間

研究対象期間：令和2年1月上旬～令和2年3月上旬まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和2年3月上旬まで

研究成果の発表

研究成果は、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

脳神経外科 中川隆志

当院における研究責任者

脳神経外科 中川隆志

問い合わせ先

脳神経外科 中川隆志

TEL: 096-353-6501